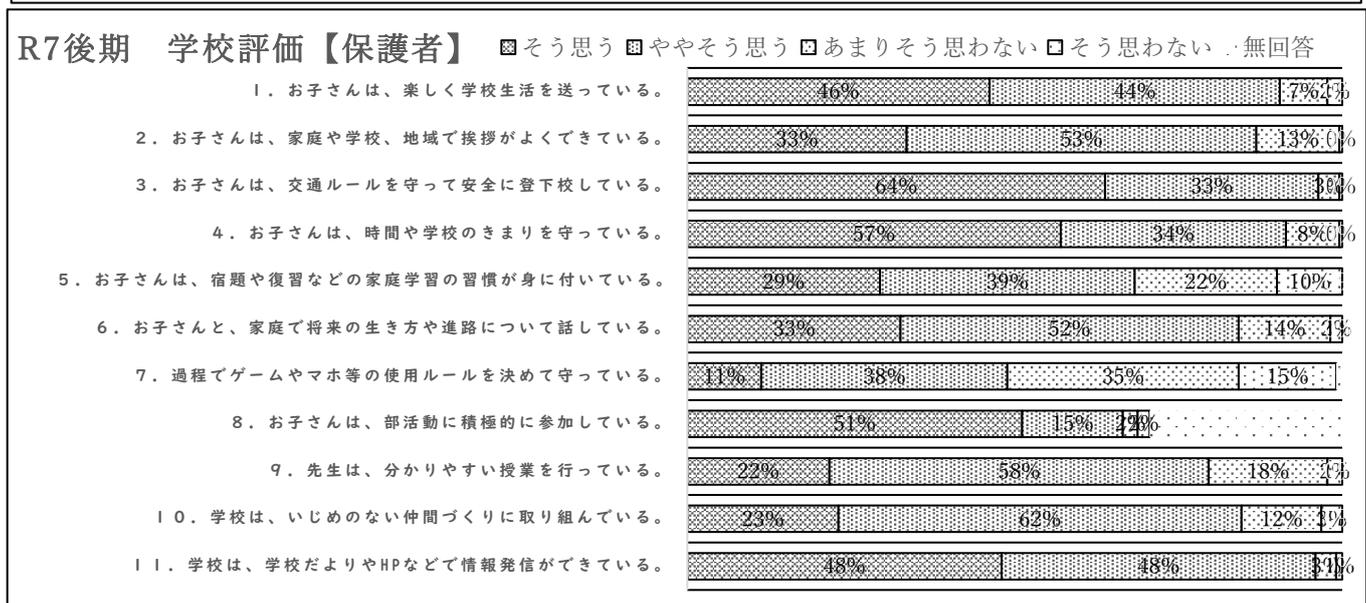
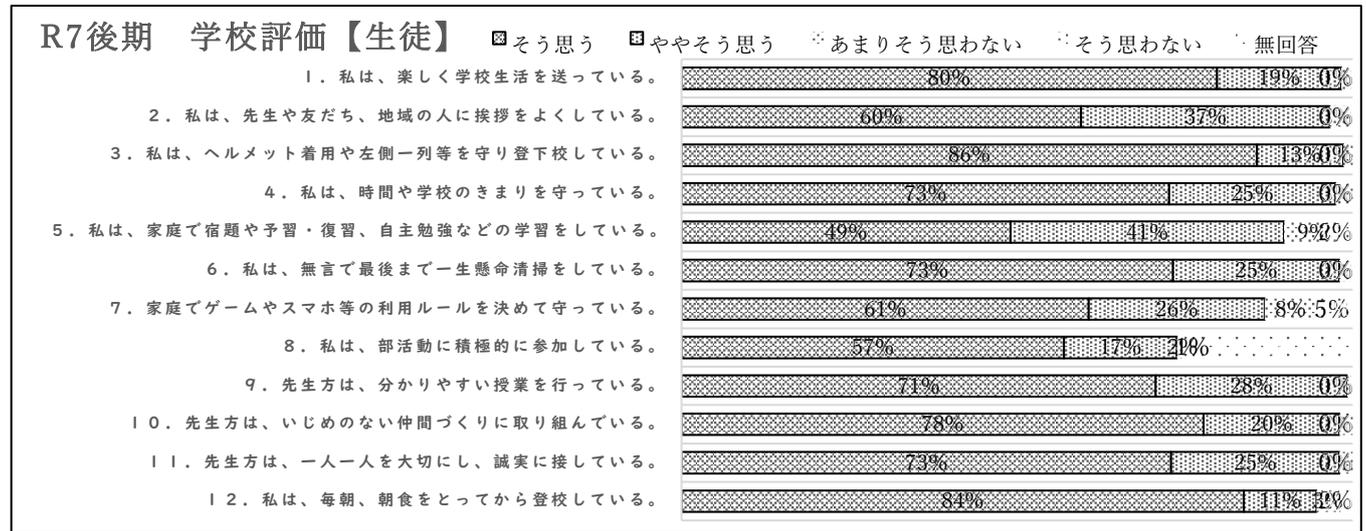


令和7年度 学校評価（後期）



【成果】

- ・ 生徒、保護者ともに肯定的な意見が多く、生徒は学校生活に一生懸命取り組んでくれています。
- ・ 部活動について、未入部生徒を除いて算出すると95%以上の肯定の結果が出ています。引き続き、技術・技能と心身の成長を期して活動していきます。
- ・ 生徒「5宿題」では、前期（肯定85%）から後期（肯定90%）と改善されています。2学期になり生徒がその学年に慣れたこと、教師が宿題の質や量を見直したことの結果と考えられます。
- ・ 学校HPや学校・学級・部活動だより、マチコミ等の種々の情報発信に高評価をいただいています。

【課題と改善策】

- ・ 「宿題」と「ゲーム等のルール」に課題があります。両者を関連付けて、心配な生徒には懇談会等で保護者の皆様にご連絡しました。どちらの項目も前期結果よりも微増ですが向上しています。引き続き学級担任と教科担任が連携して、気になる生徒の宿題の提出状況を確認し、家庭と学校が連携した指導を継続していきたいと考えます。
- ・ 生徒について、「挨拶」「宿題」「無言清掃」の肯定的な意見は多いですが、「そう思う」と答えた割合が前年度比平均12ポイント減少しています。生徒は「完璧にできているわけではない」と自認しており、学校全体としての規律の乱れが懸念されます。教職員が生徒の活動全般を確実に見取り、適切に支援、指導していきます。
- ・ 「1楽しい学校生活」「9分かる授業」「10いじめ防止」「11一人一人を大切に」については、高評価ですが、「あまりそう思わない」「そう思わない」の生徒に目を向け、個に応じた対応をしていかなければならないと考えます。そのためにも、生活調査や生徒の観察により、生徒の困り感を察知するだけでなく、教育相談の時間を設定して、積極的に生徒から直接話を聞くことができる環境を整えていきます。